

新 菊池市議会 始動!!



菊池

議会だより

Vol.86

令和8年9月1日号

6月定例会 Contents

新正副議長就任あいさつ	2
議会構成	3～5
臨時会・定例会審議結果	6
委員会報告	7～9
14人が市政を問う	10～16
令和7年度政務活動費	19

新しい議会構成が決まりました！

令和8年第1回（6月）臨時会では、市議会議員の改選後の初議会であるため、正副議長選挙を行い、議長に後藤英夫議員、副議長に田中教之議員を選出しました。

その他、各常任委員会委員等の選任を行い、議会の構成が決まり、新しい議会の活動が始まりました。

議長就任あいさつ

「信頼される開かれた議会と建設的な提言を」



議長
後藤 英夫

菊池市議会議長に就任いたしました後藤英夫です。

社会情勢の不透明感が増し

周辺自治体が急速に発展する中、誇るべき農林業を守り歴史や伝統を尊重するとともに、温泉街の活性化やインフラ整備による人口増、互いを尊重し合えるまちづくりが急務です。

二代表制の一翼を担う責任を胸に、地域経済の活性化

や福祉の充実など重要課題に向き合い、現場の声に耳を傾けてまいります。

より多くの方々に市政や議会へ関心を持っていただけるよう、建設的な政策提言ができる議会へ成長させ、信頼される「開かれた議会」の実現に全力でまい進いたします。何卒よろしくお願い申し上げます。

副議長就任あいさつ

このたび、菊池市議会副議長に就任いたしました田中教之です。

市民の皆様のご信託に深く感謝申し上げます。

副議長として、議会と市民、

行政の間をつなぐ「繋ぎ役」

に徹し、円滑な意思疎通と合意形成に努めてまいります。

また、投票率向上のために、小中学校や高校と連携した主権者教育を積極的に推進し、

政治や地方自治への関心を高めていく所存です。

議会においては、建設的な

議論を活発化させ、課題解決

に向けて議会を着実に前へ進

めてまいります。

市民の皆様の声を大切にし

ながら、信頼される議会づく

りに全力を尽くしてまいります。

すので、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

「議論尽くし前に進む議会へ」



副議長
田中 教之

総務文教常任委員会

政策企画部・総務部・会計課・選挙管理委員会・監査委員・教育委員会等の所管に属することの調査・審査を行う委員会です。



牧委員、荒木委員、安武委員長、東副委員長、水上委員、田崎委員

福祉厚生常任委員会

市民環境部・健康福祉部・福祉事務所の所管に属することの調査・審査を行う委員会です。



菊池委員、二ノ文委員、福島委員長、島副委員長、田中委員、出口委員

経済建設常任委員会

経済部・農業委員会・建設部・水道局の所管に属することの調査・審査を行う委員会です。



森山委員、木下委員、古田委員長、城副委員長、緒方委員、高崎委員

議会運営委員会

議会を円滑・効率的に運営するために、常任委員会とは別に設置する委員会であり、議会運営の責任者である議長の諮問的な性格を帯びた機関です。



古田委員、水上委員、二ノ文委員長、緒方副委員長、福島委員、安武委員

議会広報広聴常任委員会

議会だよりの発行を中心とした情報の周知に加え、より開かれた議会を目指し、新たに市民の皆さまの声を議会へ届ける広聴の役割を担う委員会です。



高崎委員、菊池委員、牧委員、緒方委員長、田崎副委員長、森山委員、出口委員

予算決算常任委員会

市の予算や決算に関する調査・審査を行う委員会では議長を除く議員18人で構成されています。多岐にわたる市の事業をより細かく、集中的にチェックするため、「総務文教」「福祉厚生」「経済建設」の3つの分科会を設置し、それぞれの専門分野に分かれて審査を行っています。



島副委員長



水上委員長

一部事務組合等議会議員構成

菊池広域連合議会

菊池市・合志市・大津町・菊陽町で構成し、広域行政体制の整備、ごみ処理施設や一般廃棄物最終処分場、火葬場、し尿処理施設等の設置・管理・運営、介護認定審査会の運営のほか、消防等の広域処理に関する調査・審査を行う機関です。各市町から6人ずつ選任します。



安武議員



緒方議員



荒木議員



田中議員



後藤議員



木下議員

菊池養生園保健組合議会

菊池市・合志市で構成し、診療所や健康管理センター等の共同処理に関する調査・審査を行う機関です。各市から4人ずつ選任します。



城議員



東議員



古田議員



水上議員

熊本県後期高齢者医療広域連合議会

熊本県内全ての市町村で構成し、被保険者資格の管理、医療給付、保険料の賦課、保健事業等の事務の広域処理に関する調査・審査を行う機関です。各市町村から1人ずつ選任します。



福島議員

菊池市各種委員

監査委員

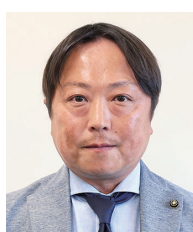
市の財務に関する事務の執行及び市の経営に係る事業の管理を監査します。地方自治法に基づき、監査委員2人のうち1人を議員の中から選出することになっています。



牧議員

菊池市都市計画審議会

都市計画法に基づき設置される審議会です。市長の諮問に応じて都市計画に関する事項を調査・審議し、答申するほか、必要に応じて市長に意見を述べる機関です。議会から4人を選出します。



出口議員



古田議員



菊池議員



島議員

令和8年
第1回

臨時会

この臨時会は、市議会議員改選後初の議会です。
正副議長選挙など、議会構成が決まりました。
専決処分の報告及び承認を求めることのほか、報告が5件あり、審議の結果、原案のとおりすべて承認しました。

開催日：6月5日（金）

主なものは以下のとおりです。

令和8年
第2回

定例会

この定例会では、条例の制定、補正予算、人事案件など17議案が提案されたほか、議員提出議案が1件、決議案が1件、報告が8件、請願が1件あり、慎重に審議しました。

審議の結果、議員提出議案第3号、決議案第1号を除き原案のとおり可決・同意・採択しました。

開催日：6月18日（木）～7月10日（金）

主なものは以下のとおりです。

主な付議事件一覧及び審議結果表

※賛否の分かれた議案のみを掲載しています。

	議案番号	議案名	結果
第1回臨時会	議案第44号	専決処分の報告及び承認を求めることについて (菊池市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	原案承認
第2回定例会	議案第49号	菊池市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第50号	菊池市インターネット上の誹謗中傷等の防止に関する条例の制定について	原案可決
	議案第53号	菊池市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議員提出議案第3号	菊池市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案否決
	決議案第1号	安武睦夫議員に対する問責決議	※ ^{かし} 瑕疵ある議決

※採決は可否同数であったが、「賛成少数で否決」との宣告がなされ、その後も手続が是正されないまま進行了た結果、可決でもなく否決でもない「^{かし}瑕疵ある議決」になりました。

賛否表

○は賛成 ●は反対 ◎は議長裁決 棄は棄権 除は除斥 /は議長職時
除斥：議案と一定の利害関係を持つ議員は、当該議案の審議・採決に参加することができない。

※下記以外の議案は、全会一致で可決しました。

	議案	結果	表決数 賛成 反対	議席番号															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
				高崎匡史	出口慎太郎	田崎奈々	菊池みどり	森山章	牧俊郎	城太志郎	安武睦夫	古田浩敏	島中教之	東英俊	福島英徳	緒方哲郎	後藤英夫	水上隆光	荒木崇之
第1回臨時会	議案第44号	承認	17 対 1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第49号	可決	16 対 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
	議案第50号	可決	17 対 1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第53号	可決	17 対 1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員提出議案第3号 (可否同数のため議長裁決)	否決	9 対 9	○	○	○	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	◎	●	○
	決議案第1号 ^{かし} 瑕疵ある議決		8 対 8	棄	○	○	●	●	●	●	除	○	●	●	○	○	●	○	○

総務文教常任委員会報告

委員長／安武睦夫 副委員長／東英俊 委員／田崎奈々 牧俊郎 水上隆光 荒木崇之

【議案第49号】



菊池市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

内容 県人事委員会勧告に基づく公務員の給与改定に準じ、一般職の通勤手当を改定するもの。

質疑 職員の市内外の居住人数は。また市内外で通勤手当に差をつけられないか。

答弁 全体477名中、市内316名、市外161名である。手当は国・県に従っており差をつける運用はしていないため、本市もこれに従う。

質疑 本市の内情のどこを見て、県に準じて改定すると判断したのか。

答弁 物価や燃料費の高騰、民間とのバランス、人材確保や離職防止などの観点から総合的に判断した。

反対討論 市の内情を踏まえた必要性の説明が十分でなかったことや市内外の職員構成等から賛成できない。

賛成討論 物価高を考えれば引上げはやむを得ないが、前提として事業の見直しを進める必要がある。

【議案第50号】



菊池市インターネット上の誹謗中傷等の防止に関する条例の制定について

内容 インターネット上の誹謗中傷等の人権侵害を防止するため、市の責務や市民の役割等を定めるもの。

質疑 これまでにインターネット上の誹謗中傷の相談事例はあったか。

答弁 市や学校の取組に対する誹謗中傷や差別的な書き込み等があり、一昨年と昨年度で法務局へ3件の削除申請を行った。

質疑 県内に先駆けて今制定する理由と、罰則を設けない理由は。

答弁 ネット上の差別事象の確認や、情報流通プラットフォーム対処法の本格施行が背景にある。県内で制定例がない中、本市から発信し、まずは市民への啓発を重視するため罰則は設けない。



経済建設常任委員会報告

委員長／古田浩敏 副委員長／城太志郎 委員／高崎匡史 森山章 緒方哲郎 木下雄二

【議案第65号】



市道路線の認定について

内容 市道路線として2路線を認定するもので、上原1号線は開発に伴う道路新設による認定。北畑線は寄附を受けたことによる認定である。

質疑 上原1号線の起点付近にあるバス停とバスベイ（停車帯）はどうなるのか。

答弁 熊本電鉄と協議を行い、バス停は北側へ若干移設する方向で、バスベイ（停車帯）は可能な範囲で設けるよう調整している。

質疑 北畑線はどのような経緯で寄附されたのか。また、道幅はどの程度か。

答弁 個人名義のままとなっていた道路の一部が市に寄附されたことにより、道路全体が市の所有となったため認定を行うものである。道幅は約4メートルである。



上原1号線

福祉厚生常任委員会報告

委員長／福島英徳 副委員長／島春代 委員／出口慎太郎 菊池みどり 田中教之 二ノ文伸元

【請願第1号】

可決

「菊池市原太陽光発電所設置工事許可申請に対して菊池市が許可しないことを求める」請願

内容 生味川上流域のメガソーラー発電所設置を市が許可しないことと、住民の安全確保のための現地調査及び防災対策の実施を求めるもの。

質疑 事業者からの申請に対し、市はすぐに許可を出すのか。

答弁 審査の上、条例上の要件を満たせば許可する。

質疑 設置予定地は土砂災害警戒区域か。

答弁 予定地自体は違うが、約160m離れた生味川対岸に土砂災害警戒区域がある。

請願者説明 過去のゴルフ場造成等に伴う土石流被害以降、現在も大雨時は避難を強いられている。今回の予定地は排水路が未整備であり、雨水流入による急傾斜地等の崩壊を懸念している。

議員間討議 条例に沿って進める必要があることは理解できるが、自然災害への不安が払拭されておらず、さらに話し合いを進める必要がある。

議員間討議 ハザードマップの精査や過去の災害を確認し、住民の気持ちに寄り添ってしっかり話し合ってほしい。



福祉厚生常任委員会現地調査

予算決算常任委員会報告

委員長／水上隆光 副委員長／島春代
分科会長／(総務文教)安武睦夫 (福祉厚生)福島英徳 (経済建設)古田浩敏 委員／議長を除く13人

可決

【議案第55号】

令和8年度菊池市一般会計補正予算
(第3号)

防災行政無線等整備事業

7,434万8,000円

内容 防災行政無線設備の不具合による操作卓基盤等の更新を行うもの。

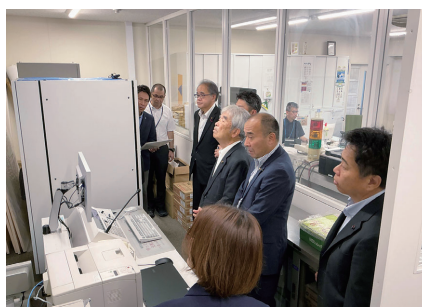
質疑 運用年数は。また、故障の原因究明は十分か。

答弁 運用開始から11年目を迎える。原因はメーカーの調査で特定されており、今回更新する。

質疑 本庁設備が故障等で機能しない場合の対応は。

答弁 旭志の深谷中継局から直接放送することとなる。

議員間討議 本庁の設備故障時に中継局へ出向いて放送する対応は、より効率的な方法を検討すべき。



総務文教分科会現地調査

中学校施設整備事業

8億759万4,000円

内容 熱中症対策や指定避難所の機能強化のため、中学校体育館に空調設備を設置するもの。

質疑 導入する空調設備の方式と維持費は。

答弁 輻射パネルを用いたハイブリッド型を採用予定。年間維持費は通常型より安価な約106万円の試算だが、各校の規模等により異なる。

病児保育施設整備事業

3,581万7,000円

内容 泗水地域に令和9年4月開設予定の2か所目の病児・病後児保育施設について、国の補助基準額改正に伴うもの。

質疑 両施設のスタッフ数と受入可能人数は。

答弁 既存施設は国の基準に基づき看護師や保育士3人の従事に対し、子どもの利用定員3人の1対1の受入体制。新設施設も同程度を予定する。

議員間討議 2か所目の施設整備は、特に子育て世帯にとってありがたい施設であり、評価したい。

予防接種事業

576万3,000円

内容 75歳以上対象の「高用量」と、2歳～13歳未満対象の「経鼻（鼻への噴霧）」のインフルエンザワクチンを追加実

施するもの。

質疑 過去の接種者数と、自己負担額は。

答弁 昨年度実績は75歳以上が5,141人、2～13歳未満が845人。自己負担は、高用量が3,000円、経鼻が4,000円となる。

議員間討議 両ワクチンの導入は有効であり、特に子どもは注射よりも受けやすくなるため、多くの方の接種を期待したい。



物価高騰対応重点支援事業

5,508万1,000円

内容 動力光熱費の高騰による農業経営への影響を軽減するため、令和7年中の動力光熱費の10%を上限10万円で支援するもの。

質疑 対象者を販売金額50万円以上とした理由は。

答弁 農林業センサスの定義に基づき、50万円未満は自給的農業者と判断し対象外とした。

質疑 上限が一律10万円だが、負担額に応じて支援額に差をつけられないか。

答弁 動力光熱費は種類が多く個別の把握が難しい。早期交付のため、予算内で積算した。

公園管理経費

51万7,000円

内容 さくら山公園貯水池の防水シート破損により水が浸

透し、周辺道路等に地割れが生じたため張り替えるもの。

質疑 防水シートの耐久性と、今後の対応は。

答弁 耐久性は約4年。付近に排水できる河川がなく現工法をとっているが、4年ごとの張り替えは課題。当面は張り替えて対応し、根本的な手立てがあれば今後検討したい。

議員間討議 日頃からの点検の徹底と、次回までに張り替え以外の根本的な方法も検討してほしい。



Q 過去1年間の国政と市政選挙投票率についての考えは。

A 国政・市政ともに減少傾向。魅力ある市政の展開が重要である。

Q 今般の市議選における投票率は、昨年7月の参院選、今年2月の衆院選の投票率を下回っている。市長は、この民意をどう捉えるか。

A 数字から見る限り、市政に対する期待が低下しているのではないかと感じている。このような状況を変えていくため、市民に政治に参加しようという意識を持っていただけるような魅力ある市政を、議会とともに全力で展開していくことが重要と認識している。

介護問題について

Q 菊池市の65歳以上の高齢者は人口の34.7%を占める。介護業界は長年、介護人材の不足に直面している。このままでは菊池市は介護砂漠に陥ってしまう。この問題解決のため

牧 俊郎 議員



動画はこちら →



に介護人材公社を設置する考えはないか。

A 介護職員の資質を上げるための教育費用の補助や、訪問活動のための車両の一部の補助など、新たに始めた支援がより効果の高いものとなるよう、まずはそこを磨き上げていくことに注力したい。現時点では、ご提案の公社設立は考えていない。

その他の質問

・ 人口問題について

Q めぐるん券をデジタル化する考えは。

A 導入のメリット・デメリットを調査・研究していく。

Q デジタル化推進と利便性の向上を目指し、本市が発行するめぐるん券をデジタル商品券と従来の券に市民のニーズに合わせて選択できる体制は考えられているか。

A 今回は物価高騰対策としていち早く届けるべく、既に流通しているめぐるん券で対応した。デジタル商品券の導入に関しては、キャッシュレス化の進展やデジタル弱者への対応、運用手数料などのメリット・デメリットを調査・研究していく。



めぐるん券

森山 章 議員



動画はこちら →



小学校の体育館空調設備の計画及び子供への熱中症対策について

Q 小学校体育館の空調整備は遅れているが、冷水機やミストファンなどの設置を検討するなど、児童の熱中症対策は講じられているのか。

A 夏場の体育の授業は午前中の涼しい時間に実施するよう指導し、日中の場合も暑さ指数を測定し活動実施の判断をしている。また全校に経口補水液を配備しているほか、ほとんどの学校でスポットクーラーや大型扇風機を活用して熱中症対策を行っている。

Q 高齢者の補聴器購入費助成を実施する考えは。

A 購入費用の一部を助成する方向で進めていく。

Q 加齢に伴う難聴は、高齢者の社会的孤立や認知機能低下のリスク要因の一つである。住み慣れた地域で元気に暮らし続けるために、聞こえの環境整備は重要である。難聴による心身への影響についてどのような認識か。

A 難聴によりコミュニケーションが取りにくくなり、外出機会の減少から体力の低下や心身の虚弱状態（フレイル）となる危険性が高まり、社会的孤立が想定される。これが認知症などの発症要因の一つと認識し、重要な課題と考えている。



学校への給水スポット設置について

Q 夏場の猛暑が常態化している。児童生徒の

島 春代 議員



動画はこちら →



命と健康を守るためにも学校における熱中症対策として、水筒用の冷水機の設置を進める考えは。

A 給水スポットについては、学校の意向を聞きながら、設置の有無について判断したいと考えている。

その他の質問

- ・不登校児童生徒への給食提供による支援について
- ・子どもの居場所づくりについて

Q 本市農業を守るため、何を最優先に進めるのか。

A 地域や業種の課題に応じ、県やJAと連携し解決を図る。

Q 本市における現在の農業をどの程度危機的な状況と捉えているか。また、10年後にはどのような状態になるとみているか。

A 平地部では農地集積が進み、今後の営農体制は比較的安定していくと捉えている。中山間地域においては、現時点では中山間地域等直接支払制度により適切な生産活動が行われているが、将来的には担い手不足等により、これまでのような営農体制が継続できるか懸念している。

Q 肥料や飼料などの物価高騰に対する市の危機認識と、最優先すべき支援策は。

A 規模や業種を問わず農業経営に大きな影響を及ぼしていると認識している。今議会で全て

緒方 哲郎 議員



動画はこちら →



の農業者を対象とした物価高騰に対応する支援金の予算を計上したほか、深刻な状況にある畜産農家に対しても、引き続き同様の支援金を交付するための準備を進めている。



Q 介護認定前の高齢者「制度の谷間」への支援策は。

A 関係機関と連携を強化し、必要な支援につなげる。

Q 遠慮や経済的理由、手続き不明、移動困難などから、介護認定を受けていない「制度の谷間」の高齢者の実態をどう把握し、民生委員・区長・地域包括支援センターが連携した早期発見・支援ルートをどう整備するか。

A 現在設置している「菊池市高齢者地域見守りネットワーク」を活用し、区長や民生委員等とより一層の情報連携を図る。また、通いの場など、高齢者が集まる機会がない地域には出向き、実態を把握するための情報収集を行い、必要な支援につなげていく。

Q 独居高齢者が増える中、ごみ出し支援を希望する声も増加しており、実態把握の状況と、ごみ出し支援目印シール制度を導入する考えは。

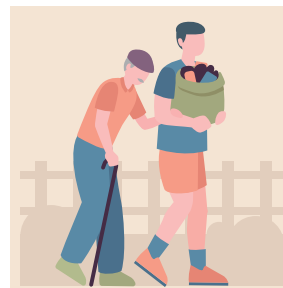
安武 睦夫 議員



動画はこちら →



A 具体的な件数は把握できていないが、相談を受けた場合は各種生活支援サービスを紹介している。提案の目印シール制度も含め、少しでも負担軽減となるような支援策を検討し、できることから形になるよう早急に進めていく。



その他の質問

・小学校運動部活動の社会体育移行について

Q 河川事務所との協議書の承認条件は適切に履行されたか。

A 刈り草の飛散防止に努めさせ、その履行を確認している。

Q 土木課は契約内容どおり施工されていることを、どのような基準と方法で確認し、現地確認を含めた検査結果は十分なものと言えるか。また、市民から寄せられる管理への意見をどのように検査へ反映しているのか。

A 除草した直後の状況が分かる管理写真にて確認している。また、菊池川河川事務所と土木課において、代表箇所を協議の上、目視による現地での検査を実施しており、特に指摘はない状況である。



福島 英徳 議員



動画はこちら →



Q 市民の税金と国の委託金を使う以上、契約内容や検査体制、機械の管理を含めた現在の仕組みは、市民に十分説明できるものと考えているのか。また、今後さらに改善や検証を行う必要はないと考えているのか。

A 委託金からの修繕費支出については、今後精査する。また、現在の仕組みに今後改善が必要かという点については、担当部署で内容を確認した上で改めて回答したい。

その他の質問

・多文化共生社会への対応について

Q 竜門ダム送水の恩恵を水源地に還元すべきではないか。

A 交付金増額は困難だが、広域的な水源涵養の仕組みを構想している。

Q 竜門ダムから半導体企業へと送水するが、ダムの水で莫大な経済効果を得るのは、企業や周辺自治体であり、水源地である龍門地区への恩恵がみえにくい。今後、竜門ダムは国家的プロジェクトを支えるインフラとなるため、ダム交付金の増額を国に求めるとともに、受益者となる企業や自治体に寄附を募るための「龍門地区振興基金」の創設をすべきであると考えているかどうか。

A ダム交付金は法律の算定基準に基づき交付されるため、現行法制度の下では、個別要望による増額は困難である。また、竜門ダム周辺は新たに植樹できる場所が限られているため、菊池川や迫間川を含めた全体で水源の確保を図る必要がある。そのため、龍門地区に限定した基

荒木 崇之 議員

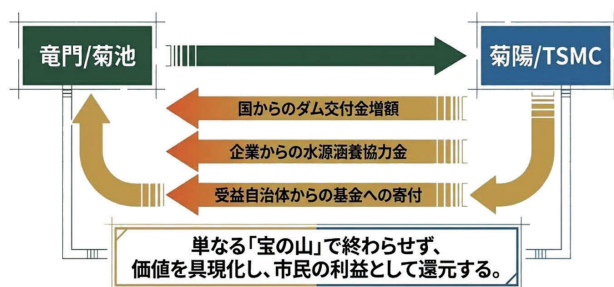


動画はこちら →



金ではなく、国や県、企業の力も借りながら、広域的な水源涵養を図る「菊池の緑基金」のようなものを構想している。

水と価値の循環：目指すべき持続可能なシステム



Q 凶悪犯罪が急増する中、市内の防犯カメラの現状は。

A 学校を除く公共施設と補助を活用した区の設置分含め98基である。

Q 現行の行政区等に防犯カメラの管理運営責任を委ねる方式では限界がある中、地域団体の負担軽減や課題解決に向けた市の支援策や具体的な対策は。

A 補助制度の申請に当たり、プライバシー保護の観点から、市に準じた設置規程の整備を行政区にお願いしている。効果や課題等については、今後、順次設置された区の意見を聞きながら把握していきたい。

Q 凶悪犯罪、児童対象犯罪から市民を守るため、行政区等に限定されている現在の防犯カメラ補助金を、個人も含め拡充し、地域を「面」で網羅する防犯ネットワークを構築すべきであるが見解は。

田崎 奈々 議員



動画はこちら →



A 昨年度、地域の防犯対策力を強化するため各行政区への設置補助制度を創設したところである。個人の場合は撮影範囲が自宅の敷地内になりがちで、プライバシーの問題もあるため、現時点で補助制度を個人向けに拡大することは考えていない。



Q 中学校の給食費無償化を行うべきではないか。

A 全国共通の問題と考え、引き続き国へ早期実現を要望していく。

Q 県内でも中学校の無償化が進んでいる。給食は教育の一環である。憲法では、義務教育は無償と定めている。その認識はあるか。

A 給食は教育活動の一環であると認識している。一方で、学校給食法の規定に基づき、食材費については保護者負担を原則としている。本市としては交付金等を活用し、食材高騰に対する補助など中学校給食への支援を行っている。



高崎 匡史 議員



動画はこちら →



高齢者の補聴器補助について

Q 補聴器助成の実施はとてもいいことだ。助成は、今年度内からでも、一刻も早く実施すべきだと考えるがどうか。

A 高齢者の補聴器購入補助については、現時点で開始時期をお答えすることはできないが、助成内容を検討し、準備が出来次第実施したい。

その他の質問

・農業について

Q 不登校児童生徒及び保護者への具体的な支援内容は。

A 全小中学校への校内教育支援センター開設や訪問支援等を行っている。

Q 不登校児童生徒や保護者への現在行っている取組の内容は。

A 専門職を配置し相談体制を整えているほか、本年度は全ての小中学校に校内教育支援センターを開設し、指導員を増員するなど新たな体制で支援を行っている。

Q 学校以外の居場所や学び場を利用する児童生徒・保護者への支援、さらに、学校や学校以外の居場所にもつながることができない児童生徒・保護者への、具体的な取組と支援内容は。

A フリースクール等へは学校長が出向き連携を図っている。また、家から出られない児童生徒には、指導員による訪問支援を行っている。

菊池 みどり 議員



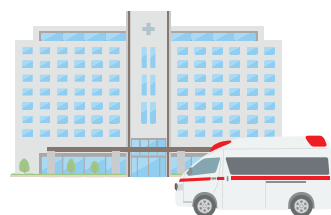
動画はこちら →



救急医療体制について

Q 市民が安心して救急医療を受けられるよう、救急医療体制の改善に向けた取組を県に要望できないか。

A 菊池保健所や医療機関等の関係機関が参加する「菊池地域保健医療推進会議救急医療専門部会」において、市民が安心して暮らせる救急医療体制を実現するため、今後も意見や要望を上げていく。



Q 消防団へのドローン導入について進捗状況を示せ。

A 操作訓練を進めつつ、消防団と協議し段階的な導入を図る。



田中 教之 議員

動画はこちら →



食育と地産地消の推進について

Q 本市で食育と地産地消を連携させた取組はあるか。

A 本市産の農林畜産物を地域の方々に PR し地産地消につなげるため、JA 等の関係団体と連携した「菊池の恵みフェスティバル」などの各種イベントを開催している。また、食生活改善推進員協議会が中学校や高齢者サロンで開催する料理教室において、地元産食材の利用に取り組んでいる。

Q 「菊池市食育・地産地消推進計画」を策定する考えはあるか。

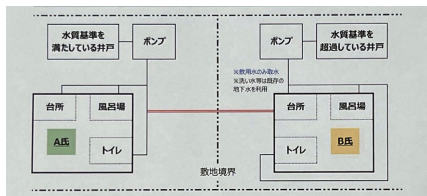
A 地産地消の計画については、農業振興や食育といった関連施策と一体的な推進を図るため、既存の総合計画やきくち健康プランに位置付けて取り組んでいる。今後は食育基本法の改正内容を踏まえ、同プランにおける地産地消等の内容を充実させていく。

Q 七城地域の硝酸態窒素濃度が高い地域への対応は。

A 浄水器設置補助のほか、畜産排せつ物の野積み指導を行っている。

Q 熊本大学との共同研究の報告をする際、今までどおりの内容では住民の納得は得られにくい。具体的な取組を示す必要があると思うが市の考えは。

A 現在、小規模水道施設補助は5戸未満の共有施設の整備が対象外となっている。今年度実施する住民説明会での意見を参考に、より利用しやすい補助制度となるよう、公平性も含め多角的な視点から検討を進めていく。



隣接住宅から分岐して飲用水のみ取水する場合

七城赤北地域の道路とほ場の高い法面の草刈りについて

Q 平地のほ場整備に比べ、この地域は道路とほ場ののり面が異常に高く、草刈りに多くの時

古田 浩敏 議員



動画はこちら →



間と経費が掛かっている。リモコン式の草刈り機の購入や燃料の補助はできないか。

A 傾斜が急で面積も大きく、のり面管理が地域の負担になっていることは理解している。草刈りに対する燃料代の補助は難しいが、リモコン式草刈り機の導入についてはスマート農業を推進する各種補助事業があるため、適切な事業を案内したい。



リモコン式草刈り機

Q 補聴器助成は国の制度も活用し負担ゼロを目指すべきでは。

A 購入費の一部助成の方向であり、具体的な制度設計は今後検討する。

Q 市長は、産業の公平性を理由に一律助成を行っているが、初期投資額が莫大な酪農・和牛繁殖農家への助成は他業種と区別すべきである。現在の畜産情勢や気温上昇を踏まえ、受精卵移植への助成も行うべきでは。

A 畜産業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあると認識している。市独自の家畜導入補助や利子補給等の支援に加え、本年度も3度目となる飼料費高騰分に対する補助の準備を行っている。効果の検証もしっかりと行っていきたい。

高齢者支援について

Q 80歳以上の運転免許証返納者は毎年100人弱である。交通難民として困る高齢者が多い

東 英俊 議員



動画はこちら →



中、べんりカーやあいのリタクシーの利用者は減少している。高齢者を本気で救うための周知の改善策は。

A ホームページや広報紙、出前講座等での周知のほか、チラシの配布や区長会等での説明を実施している。さらに、免許自主返納者へは共通乗車チケット交付時に案内を行っている。今後も工夫しながら丁寧な周知に努めたい。

Q 菊池遺産の現状と今後の対応策は。

A 160件を認定し助成。休み石周辺の公園化を検討している。

Q 菊池遺産は菊池市の自然や歴史及び伝統文化を次世代に継承する為に市民と共に行政が保護及び活用する事になっているが現状と今後の対応策は。

A 現在160件を認定し、保護活動に対し地域づくり推進補助金による助成を行っている。また、休み石周辺は整備の要望に見合う価値があると考えており、将来の公園化に向けて検討を進めている。



景観保全の作業が行われた迫間滝・休み石

Q 昨年の豪雨による被害を受けた農地等の復旧の補助事業については特に国庫災事業に対しての採択の遅れによる不満が出ているが現状と今後の対応は。

A 詳細測量設計は完了しており、農繁期前に

木下 雄二 議員



動画はこちら →



着手が困難な箇所は10月以降の着手となると伝えている。また、国へは県を通じてさらなる事務の簡素化を要望していく。

Q 市民の安全な生活を守るカーブミラー特に中山間地域は防犯灯のLED化による負担軽減が必要だが現状は。

A カーブミラーと防犯灯は、要望に応じ速やかな対応に努めている。また、次年度へ持ち越していた改修や整備の申請分については、令和7年度からの2か年で処理を行っている。

その他の質問

- ・学校跡地の活用の現状と地域貢献について
- ・道路整備について
- ・国道387号沿いの追尾型太陽光発電事業について

菊池ふれあいレガッタ

菊池市議会では、竜門ダム周辺の地域振興をはじめ、スポーツの振興、そして本市のPRを目的として、毎年「菊池ふれあいレガッタ」に出場しています。今年も市議会から「菊池ドジャース」と「菊池ドラゴンズ」の2チームを編成し、大会に向けて練習を重ねて出場しました。

6月21日に開催された本大会には市内外から33チームが参加し、猛暑の中でナツクルフォアによる300mのレースが繰り広げられました。本大会は、1回目の結果で次の組み合わせが決まり、2回目の順位が最終結果となるルールで行われました。



『菊池ドラゴンズ』

左から、森山・菊池・田崎・城・出口・高崎



『菊池ドジャース』

左から、古田・荒木・東・田中・二ノ文

激戦の結果、「菊池ドジャース」はメンバーが息の合ったオールさばきを見せ、1回目のレースで1分41秒を記録しました。昨年の記録を大きく上回る好走を見せ、全体の8位に入りました。また、「菊池ドラゴンズ」も日頃の練習の成果を発揮して力走し、1回目のレースで2分2秒の記録で17位という結果となりました。両チームとも最後まで諦めずに漕ぎ切り、白熱したレースを展開しました。



なお、9月に開催される「全国市町村交流レガッタ大会」についても、市議会として出場する予定です。全国大会へは新たにメンバーを編成し、竜門ダム（竜川ドラゴン）にちなんだチーム名である「菊池ドラゴンズ」として出場いたします。全国の舞台でも参加する他市町村と交流を深めつつ、菊池市の魅力をしっかりPRしてまいります。

今後もスポーツイベント等を通じ、市民の皆様との交流や本市の魅力発信に努めてまいります。

感謝状

第102回全国市議会議長会定期総会において、水上隆光前議長へ感謝状が贈呈されました。これは、全国市議会議長会評議員として会務運営の重責にあたり、その使命達成に尽くされた功績が高く評価されたものです。

伝達は、令和8年第2回定例会の開会日（6月18日）に議場にて行われました。



水上前議長

議会をインターネットで！

傍聴においでいただけない場合でも、インターネットで過去の本会議の録画映像をご覧ください。

菊池市のホームページより菊池市議会をクリックし、議会中継をクリックしていただくと会議録画映像を見ることができます。

なお、紙面の一般質問のページのQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像へアクセスできます。

※リアルタイムでの中継ではありません。録画映像の配信までに時間がかかる場合があります。



菊池市議会HP
議会中継

菊池市議会 議会映像 検索

議長交際費を公表します

令和8年5～7月分は以下のとおりです。

会費（公的性格を有する団体との協議会費及び負担金）

4件 2万4,000円

その他（他自治体への研修及び議長会経費）

0件 0万円

合計

4件 2万4,000円

議長交際費は、議長が市議会を代表して対外的な活動を行うために必要な経費として認められており、その支出に当たっては、社会通念上、妥当と思われる範囲内にとどめるよう努めています。

令和7年度の政務活動費を公表します

菊池市議会議員の令和7年度の政務活動費の実績を次のとおり公表します。

政務活動費は、議員の調査研究活動などに要する経費として、議員1人あたり月額2万円（年間の上限は24万円）が交付されています。

交付上限額と支給実績額のいずれか少ない方の額が支給実績額となり、交付上限額を超えて支出した場合は、自己負担となります。

（単位：円）

No.	氏 名	交付 上限額 (A)	使 途 別 支 出 額						合計 (B)	支給 実績額 (A・Bで 少ない方 の額)
			会議 研修費	調査 研究費	資料 作成費	資料 購入費	広報費	広聴費		
1	城 太志郎	220,000	78,300	59,160	4,030	14,404			155,894	155,894
2	本藤 潔	120,000	9,000				119,555		128,555	120,000
3	安武 睦夫	240,000	10,000	59,160	17,435	31,240			117,835	117,835
4	稲継 智康	240,000	124,710	20,700		11,880	90,090		247,380	240,000
5	古田 浩敏	240,000					253,185		253,185	240,000
6	島 春代	240,000	47,170			11,472	116,490		175,132	175,132
7	大山 宝治	240,000							0	0
8	田中 教之	240,000	108,870	59,760				63,241	231,871	231,871
9	福島 英徳	240,000		2,410			243,085		245,495	240,000
10	緒方 哲郎	240,000	198,740	51,674					250,414	240,000
11	後藤 英夫	240,000		59,160		76,910	22,825		158,895	158,895
12	東 奈津子	200,000				29,850	42,578		72,428	72,428
13	水上 隆光	240,000	164,770			49,000			213,770	213,770
14	猿渡美智子	240,000	42,641			53,700	141,350		237,691	237,691
15	荒木 崇之	240,000		780		3,960	471,122		475,862	240,000
16	工藤圭一郎	240,000							0	0
17	二ノ文伸元	240,000				37,200	96,741		133,941	133,941
18	泉田栄一郎	240,000	110,630			34,100	111,815		256,545	240,000
19	木下 雄二	240,000					271,000		271,000	240,000
20	山瀬 義也	240,000		59,160		49,080			108,240	108,240
合計		4,620,000	894,831	371,964	21,465	402,796	1,979,836	63,241	3,734,133	3,405,697
構成比			24.0%	10.0%	0.6%	10.8%	53.0%	1.7%	100.0%	



←各個人ごとの収支報告書等は、
市のホームページにて、ご覧になれます。

令和8年 第3回
菊池市議会定例会日程の予定

月 日	区 分	日 程
8月21日	本会議	開会・開議・会期の決定 議案上程・提案理由説明
8月22日	（8月22日～26日 休会）	
8月27日	本会議	質疑・委員会付託
8月27日	委員会	予算決算常任委員会
8月28日	本会議	一般質問
（8月29日～30日 休会）		
8月31日	本会議	一般質問
9月2日	（9月2日～3日 休会）	
9月3日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 （総務文教・福祉厚生・経済建設）
9月4日	（9月4日～5日 休会）	
9月5日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 （総務文教・福祉厚生・経済建設）
9月6日	（9月6日～7日 休会）	
9月7日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 （総務文教・福祉厚生・経済建設）
9月8日	（9月8日～9日 休会）	
9月9日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 （総務文教・福祉厚生・経済建設）
9月10日	（9月10日～11日 休会）	
9月11日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 （総務文教・福祉厚生・経済建設）
9月12日	（9月12日～13日 休会）	
9月13日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 （総務文教・福祉厚生・経済建設）
9月14日	（9月14日～15日 休会）	
9月15日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 （総務文教・福祉厚生・経済建設）
9月16日	（9月16日～17日 休会）	
9月17日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 （総務文教・福祉厚生・経済建設）
9月18日	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決・閉会

※この予定は、会期中に変更になる場合があります。

編集後記

今期より、「議会広報特別委員会」は新たに「議会広報広聴常任委員会」となり、5月に行われた選挙により新メンバーでの活動を始めました。

議会広報とは、議会の活動を市民に分かりやすく伝えることであり、議会広聴とは、市民の声を議会が受け取り、議会活動に反映することです。この二つを一体で行うことで、議会の透明性・信頼性を高め、市民参加を促す役割を果たすものと考えます。

今後も、より多くの市民の皆さまに手に取っていただける議会だよりを作成するとともに、若者からご高齢の方まで幅広い声をお聴きし、議会活動に反映してまいります。委員一同、想いを出し合いながら頑張ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

議会広報広聴常任委員長 緒方 哲郎

議会傍聴を
お待ちしております！

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。また、3階の議場の傍聴席は、バリアフリー対応となっていますので、本庁1階のエレベーターで3階までお越してください。皆さまのお越しをお待ちしております。なお、各支所でも生中継でご覧いただけます。



9月定例会は8月21日(金)に
開会しました。

※感染症対策などにより、入場に制限がある場合があります。